



# マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページが新しくなりました

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

7月号 JUL 2015

<http://www.maruto-shoji.co.jp>



2015年6月23日～26日に弊社渋谷が中国玉葱の状況調査並びにパートナー工場訪問

## 今夏の玉葱は荒れる？

7月に入りました。2015年の丁度半分が終わったこととなります。前半戦皆様は如何でしたでしょうか。ISILによるフランスのテロや邦人殺害といった物騒なニュースや、北陸新幹線開通、日経平均株価が2000年3月以来となる終値2万円越えといった話題。2015年の上期は世界でも国内でも多くのことがあったように思います。激動の2015年上期であったのではないのでしょうか。

玉葱で振り返ると、今期は北海道産がほぼ計画通りに推移しましたが、府県の玉葱が大荒れの状況となりました。今年の府県産は既報の通りですが、状況が急変するような傾向にあるように思います。弊社契約産地の前橋市産は4月中旬まで非常に順調な生育で推移しましたが、収穫1カ月前の最も大事な時期に高温となり、玉葱が肥大する前に倒伏して収穫量が上がらない状況となりました。また、唐津産玉葱もベト病の影響が少なく他産地に比べれば被害は少ないとのことでしたが、ここにきて品質面で貯蔵適正のある中晩成種が思った程量が無く、結果としては少なかつた昨年以上に出荷数量が減少しそうであるという状況です。

佐賀産については今期非常に深刻な状況になりつつあります。通常は6月中に収穫終了したものを7月より貯蔵出荷していくのですが、今期においては佐賀県内の各地において貯蔵出荷物の倉入れが計画比で大幅減少となるような情報も入っています。この状況下では7月末から8月、北海道産出荷までは過去にない程国産玉葱の流通量が少なくなる可能性が出てきました。同時期のもう一つの産地淡路産については、病気の混入はほぼ阻止できたとのことで作柄は平年作となっています。佐賀県産減少に伴い、高値期待から様子見出荷が暫く続くことになるかと思えます。

上記国産の状況から輸入品については非常に引き合いが強くなってきています。国産の代替品需要から今期はニュージーランド産の輸入量が大幅に増加しています。

6月の時点でニュージーランドの玉葱輸入量は速報値での数字把握はまだできていませんが、前年を大きく上回ったとのこと。平年であれば6月は主力産地の佐賀県、兵庫県の出荷が最盛期に入り、近隣の中小規模産地も一斉に出荷となるため府県玉葱出荷の時期としては最も安定する月です。本年は佐賀県産が予想を上回って出荷数量が減少したためこのような現象が起こっています。

また日本における玉葱の輸入でもっとも高いシェアを誇る中国産も価格高騰の方向に向かっていきます。例年であれば最も価格面で優位性のある山東省産玉葱においても今期は様相が変わってきています。

弊社渋谷が6月23日から中国産主力産地山東省を訪問し、現状原料の確認並びにパートナー工場を視察してきました。その情報によると、今期山東省産玉葱は作付け自体が昨年の安値基調から1.5割減、更に府県産同様干ばつの影響から収穫量がそれほど上がらず、平年の2割減程度の生産量であったとのこと。日本向けには、山東省の玉葱主力産地の安丘地区の玉葱が残留農薬懸念の問題で出荷することができず、出荷可能地区の玉葱に買いが集中しているため数量が少なく、現地相場は高騰しているとのこと。更に日本向け玉葱に良くない状況として、今期日本同様に韓国も玉葱不作の状況で30万トン規模の海外買い付けを行うという話も聞こえてきています。（日本の中国からの輸入量は月間2万5千トン程度）円安に振れている現状としては韓国と競合した場合、買い付けでも不利となることも大いに考えられます。

今後7月・8月の玉葱流通予測としては現状情報からは数量・価格とも悲観的にならざるを得ないと考えています。特に国産玉葱においては弊社でも当初仕入計画と大幅に数字が異なる状況になりつつあります。国産、輸入ともに逼迫する状況となってくるのが予想されますが、その中でもお客様にベストなご提案ができるよう最大限努めて参ります。

最後に少し明るい話題となりますが、北海道産玉葱の生育は久しぶりに順調に推移しています。6月末の時点では道内各産地いずれも順調です。例年に比べても10日程度前進傾向にあり早めの収穫が可能となりそうです。このまま順調に天候推移すれば豊作型は間違いないとの声も聞こえています。直前にどんでん返しというパターンが多い最近の玉葱産地状況ですが、なんとか今期の北海道産については順調にいったらいたいのものと期待しています。

## 営業中村のマルチ便PLUS!

7月のマルチ商事玉葱産地情報&見通しをお届けします!



取扱産地	産地状況 & 今後の見通し
国産(佐賀/宮城)	7月は佐賀県産が主力となります。6月中にはほぼ収穫が終了しています。予想収穫量を大きく下回っている状況です。また品質懸念も出ており今後の貯蔵出荷分の数量も大きく減少の見込みです。現在産地とも数量面調整が続いておりませんが、最大限の確保ができるよう進めております。例年であれば9月中旬まで使用の計画としておりますが、今期は上記状況より大幅に終了時期が前倒しとなる見込みです。
中国(山東省)	山東省産の玉葱が入荷しています。品位はまずまずの状況です。残留農薬問題により日本向け出荷可能産地が減少して、各社原料玉葱の確保に動いたため産地相場が高騰し始めています。韓国からの買い付けも価格高騰を推進する可能性があり、例年にない高値相場となる可能性があります。
ニュージーランド	今期6月で終了を予定していたニュージーランド産ですが、佐賀県産数量の大幅減少を受けて急きょ手配を進めております。7月、8月の国産玉葱の代替品として使用を検討している状況です。国産使用のお客様におかれましては大変お手間をおかけしますが、佐賀の切り上がり方が早くなることが予想されるため、北海道産までのつなぎとして再度ご提案をさせて頂くことを検討しております。

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。

お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315